

(2023年9月～11月製作完了分)

点字図書受入れ目録 15タイトル

自館製作の点訳は「西宮点訳グループ」・「点訳グループあやめ」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	冊数
点72-1	小説 (2023)	<small>はなよめじゅんあいろく</small> 花嫁純愛録 回一モアサスペンス	<small>あかがわ じろう</small> 赤川 次郎	3
結婚式当日を迎えた刑事の小堀有里 <small>こぼり ゆり</small> のもとに、部下から殺人事件の容疑者を発見したと報告があった。驚くことに容疑者も結婚式当日で、式場も同じだと言い…。表題作など全2編を収録。				
点72-2	小説 (2022)	<small>かまくらざんえい</small> 鎌倉残影 <small>れきししよせつ</small> 歴史小説アンソロジー	<small>あさい まかて ほか</small> 朝井 まかて 他	3
武士の世への転換点を駆け抜けた源頼朝 <small>みなもとのよりともほうじょうまさこ</small> 、北条政子 <small>ことばじょうこう</small> 、後鳥羽上皇 <small>わだよしもり</small> 、和田義盛 <small>ほうじょうよしとき</small> 、そして北条義時。歴史小説の名手たちが彼らの面影を丹念に描き上げた珠玉の小説集。				
点72-3	小説 (2023)	<small>かんなじま</small> 神無島のウラ	あさの あつこ	4
12歳で離れた故郷の島へ戻ってきた榎屋深津 <small>まきや みつ</small> 。20年前の事件の記憶がよみがえり…。大人に傷つけられた子どもたちと、過去の傷を抱える若手教師の回復を描く。				
点72-4	小説 (2023)	<small>ばんしよい</small> 番所医はちきん先生 休診録 5 <small>わる やつ</small> 悪い奴ら	<small>いかわ こうしろう</small> 井川 香四郎	4
句会 <small>くかい</small> に浪人が乱入し、3人を惨殺し9人に怪我を負わせる事件を引き起こした。被害者に岡っ引きがいたことから事態は緊迫。番所医の八田錦 <small>はつたにしき</small> は、被害者に関するある重大な事実気づき…。				
点72-5	小説 (2023)	ケチる貴方 <small>あなた</small>	<small>いしだ かほ</small> 石田 夏穂	2
冷え性と脂肪吸引。文学界が最も注目する作家による身体性に根差した問題作。第44回野間文芸新人賞候補となった表題作と第38回大阪女性文芸賞受賞作を収録する。				
点72-6	小説 (2023)	<small>もと もくあみ</small> 元の黙阿弥	<small>おくやま きょうこ</small> 奥山 景布子	6
六分の矜持 <small>ろくぶ きょうじ</small> と四分の熱 <small>しぶ</small> を焔 <small>ほむら</small> に、立作者・河竹新七 <small>かわたけしんしち</small> は黙々と新作を世に送り出し…。幕末明治 <small>めいじ</small> の激動期、歌舞伎界を支え続けた“日本のシェークスピア”河竹黙阿弥 <small>かわたけもくあみ</small> の作者人生を描く。				

点72-7	小説 (2022)	タクジョ! みんなのみち	おの であら ふみのり 小野寺 史宜	4
<p>たかま なつこ 高間夏子は、女性タクシードライバー。運転手とお客さん、タクシーの車内で響き合う、一期一会の心もよう…。人生の機微を紡ぐ名手が、味わい深い人間ドラマを描く。</p>				
点72-8	小説 (2023)	ガウディの遺言	しもむら あつし 下村 敦史	5
<p>バルセロナに暮らす志穂は、聖堂石工の父を探している最中に、父の友人の遺体がサグラダ・ファミリアの尖塔に吊り下げられているのを発見してしまう。前代未聞の殺人事件に秘められた真相とは…。</p>				
点72-9	小説 (2023)	あら、50歳独身いいかも!	たけ きき 武 きき	3
<p>来年50歳を迎える美樹は、独身のキャリアウーマン。ある日、10歳年下の涼真に交際を申し込まれ、押しに負けて付き合うことに…。年下彼氏×中年女性のキュン死必至な年の差ラブストーリー。</p>				
点72-10	小説 (2023)	答えは市役所3階に 2020心の相談室	つじどう 辻堂 ゆめ	5
<p>市役所に開設された「2020こころの相談室」に持ち込まれるのは、切実な悩みと気づいてもらいたい想い、そして、知られたくない秘密で…。ストレスフルな現代に贈る、あたたかなミステリー。</p>				
点72-11	小説 (2022)	風の値段	どうば しゅんいち 堂場 瞬一	6
<p>しんばし 新橋署生活安全課の刑事・天木淳は洋上風力発電の最新技術データが、業界トップメーカーから、ライバル社に流出していることを知る。内偵捜査を始めると、鍵を握る人物が、大学時代の友人であることがわかり…。</p>				
点72-12	小説 (2023)	バスに集う人々	にしむら けん 西村 健	5
<p>路線バスで各地を巡りながら、人と出会い、日常の謎を追う。謎を解き明かすのは、元刑事・炭野の妻・まふる夫人。最後に彼女が挑んだのが、フィッシング詐欺常習犯の行方で…。</p>				
点72-13	小説 (2023)	拙者、妹がおりまして 8	はせつき もとや 馳月 基矢	3
<p>いさみ きくか 勇実と菊香は突然の嵐に遭い、船宿・大柳屋の店先でひと晩を共にすることに。すると、大柳屋に潜んでいる鼠小僧と出くわした。密かに色を売って荒稼ぎしているこの宿を探っているというのだが…。</p>				

点72-14	小説 (2022)	わたしのアグアをさがして	ふかざわ うしお 深沢 潮	3
<p>無難に生きてきた莉子^{りこ}を待っていたのは勤務先の倒産に恋人との別れだった。莉子はフラメンコを学ぶため思い立って本場スペインに旅立ったが、異国での生活に無力さを突き付けられ…。</p>				

点72-15	小説 (2022)	ええじゃないか	やっ やぐるま 谷津 矢車	5
<p>幕末^{ぼくまつ}に起こった史上最大の乱痴気騒ぎ^{らんちきさわぎ}「ええじゃないか」。三河国^{みかわのくに}に降った数枚の御札^{おふだ}が、やくざ者の晋八^{しんぱち}、御庭番^{おにわばん}の市之丞^{いちのじょう}、そしてこの国の運命を変える!</p>				

点字雑誌	<ul style="list-style-type: none"> *天声人語(朝日新聞より) 全1巻 *女の気持ち・男の気持ち(毎日新聞コラムより) 全1巻 *日経コラム抜粋版 全1巻 *人生案内(読売新聞より) 全1巻 *ひととき(朝日新聞コラムより) 全1巻 ★購入 点字ジャーナル ★購入 生活情報誌ライト&ライフ
寄贈点字本・雑誌	<ul style="list-style-type: none"> *ふれあいらしんばん(発行:内閣府政府広報室) *私たちの税金 令和5年度版(発行:国税庁) *ワールド・ナウ 第57号(厚生労働省委託 発行:日本視覚障害者団体連合) *SSK 協会だより、SSK 盲ろう者の専門誌 コミュニカ(発行:全国盲ろう者協会)

録音(カセット)図書受入れ目録 | タイトル
 自館製作の音訳は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	巻数
カ72-1	小説 (2023)	はな 花だいこん	やまもと いちりき 山本 一力	7
<p><small>いちぜんめしや</small>一膳飯屋「だいこん」を知人に譲ったつばきは、父と母と新たな三人暮らしを始めた。ある日、<small>やくしゅどん や</small>薬種問屋 <small>ほうらいや</small>蓬萊屋が看板の思案を求めていることを知り、巨大<small>ちようちん</small>提灯という壮大なスケールの思案を提案する。</p>				

広報誌	*令和5年度市営住宅だより 秋号
-----	------------------

録音 (デイズ) 図書受入れ目録 34タイトル
 自館製作の音訳・編集は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	時間
デ72-1	小説 (2023)	しんがん 心眼	あいば ひでお 相場 英雄	10:11
<p>街頭に立ち、指名手配犯を炙り出す〈見当たり捜査班〉。新たに就任した捜査一課長はハイテク捜査を実施、「見当たり捜査班不要論」をぶち上げた。見当たり班の新米刑事・片桐は…。</p>				
デ72-2	小説 (2023)	まも まち サクラの守る街	あさくら ひろかげ 朝倉 宏景	11:22
<p>盗難事件で信用が失墜したサクラ警備保障を継いだ基輝は、何を守ればいいのか悩み、面接で「あなたは何をまもりますか?」と尋ねる。トラウマを抱えた4人の警備員の日々を見つめ、基輝がたどり着いた守ることの意味とは…。</p>				
デ72-3	小説 (2023)	うず なか 渦の中へ (おいち不思議がたり[6])	あさの あつこ	8:19
<p>おいちの祝言の日に、ある商家で毒物混入事件が起きる。犯人が知人の巳助と聞いたおいちは…。青春時代ミステリー、「おいち不思議がたり」シリーズ第6弾。</p>				
デ72-4	小説 (2023)	ひかり 光のしるべ えにし屋春秋	あさの あつこ	8:21
<p>仲間とともに〈えにし屋〉に現れた物乞い稼業の少年・信太。同じ頃、行方知れずの息子を探してほしいと夫婦が訪れ…。縁を商いとする者と頼る者の光と影を描く〈えにし屋春秋〉シリーズ第2作。</p>				
デ72-5	小説 (2023)	ミドルノート	あさひな 朝比奈 あすか	7:29
<p>働くスタイルや活躍の場が異なる4人のアラサー女性は、混沌とした時代の波に揉まれ、変化を余儀なくされる。焦りや不安、重圧のなかで彼女たちが拗りどころにしたものとは…!?</p>				
デ72-6	日本史 (2020)	せんそう たび “戦争”を旅する	あらい えみこ 新井 恵美子	3:56
<p>極寒の大陸、灼熱の南の島で、多くの日本の兵士達が散って行った太平洋戦争。フィリピン、パラオから旧満州、樺太まで、風化しかける記憶をたどりながら歩いた慰霊の旅を綴る。</p>				

デ72-7	小説 (2023)	わがて たいよう 我が手の太陽	いしだ かほ穂 石田 夏穂	3:25
<p>てっこう 鉄鋼を溶かすレベルの高温を扱う溶接作業は、工事現場の花形的存在。中でも腕利きの伊東は自他とも認める熟練した溶接工だ。そんな伊東が、突然スランプに陥り…。異色の職人小説。</p>				

デ72-8	小説 (2023)	ふさいしゅう 夫妻集	おの でら ふみのり 小野寺 史宜	6:47
<p>新婚早々、妻が単身赴任で遠方に栄転。戻ってくるのは2年先。家も子供も、これからどうする？ 足立夫妻をはじめ、4組の夫婦が直面する結婚の危機。彼らが出す答えは？ ままならないけど愛おしい、夫と妻で紡ぐ日々を綴る。</p>				

デ72-9	小説 (2023)	こい はは かない、あるいは、 プールの底のステーキ	かわかみ ひろみ 川上 弘美	7:14
<p>小説家のわたし、離婚と手術を経たアン、作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメントで子ども時代を過ごした友人たちは、半世紀ほど後の東京で再会した…。たゆたうように心に届く大人の愛の物語。</p>				

デ72-10	小説 (2023)	し 知られざる徳川家康 れきししょうせつ 歴小説傑作選	きくち めぐみ 菊池 仁 編 あんざい あつこ 安西 篤子 ほか	8:45
<p>たいへい 泰平の世が続く礎を作った徳川家康。その活躍の背後にあった、特異なる家臣たちとの交わり。そして家康の最期、遺した子供たちの末路…。あまり知られていない家康のエピソードを描いた8編を収録。</p>				

デ72-11	小説 (2023)	え 江戸晴れ しん にんじょうりょうり や (新・人情料理わん屋 [3])	くらさか きいちろう 倉阪 鬼一郎	3:31
<p>江戸にある料理屋「わん屋」の常連客の一人が持ってきたかわら版によると、辻斬りが起きたという。手がかりがなく難儀している御用組に助太刀したいと剣士が名乗り出る。剣士に疑念を抱いた千之助が正体を探ってみると…。</p>				

デ72-12	小説 (2023)	みやくどう 脈動	こんの びん 今野 敏	7:30
<p>警察官による暴力や淫らな行為が相次ぐ。事態の悪化を恐れた警視庁の富野は、旧知のお祓い師を呼び出すと、警視庁を守る結界が破られており、このままでは警察組織が崩壊するという…。</p>				

デ72-13	心理学 (2023)	こどく 孤独のレッスン	さいとう たかし 齋藤 孝ほか	5:44
<p>日常の中でふと感じる孤独はどこからやってくるのか。どのように向き合えばよいのか。思想家、作家、冒険家など17人が、孤独について考える。</p>				

デ72-14	小説 (2023)	まち 町くらべ くげむしやのぶひら (公家武者信平 14)	ささき ゆういち 佐々木 裕一	6:21
<p>町の番付<small>ばんづけ</small>を記した読売<small>よみうり</small>が話題をさらう中、信平は一考<small>いっこう</small>し、働く場を増やすべく職人の誘致<small>けつじん</small>に乗り出す。だが世に悪事<small>あくじ</small>尽きず、高津藩家老<small>たかつはんかろう</small>・中谷伝太夫<small>なかにでんだゆう</small>は読売騒ぎを悪事に使おうと企み…。実在の傑人<small>けつじん</small>を描く時代小説。</p>				

デ72-15	小説 (2023)	はなち 花散るまえに	さとう しずく 佐藤 雫	9:36
<p>細川忠興<small>ほそかわただおき</small>は愛を知らなかった。玉<small>たま</small>(ガラシャ)は、妻として忠興に寄り添いたいと思う。しかし父・明智光秀<small>あけちみつひでむほん</small>の謀反により夫婦の運命は暗転。謀反人の娘となって幽閉<small>ゆうへい</small>された玉は、やがてキリスト教の愛<small>ひ</small>に惹かれていき…。</p>				

デ72-16	小説 (2023)	ローズマリーのあまき香り (みたらいきよし 御手洗潔シリーズ)	しまだ そうじ 島田 荘司	21:14
<p>1977年10月、ニューヨークのバレエシアターで主役を務めた生きる伝説のバレリーナ、クレスパンが2幕と3幕の幕間<small>まくあい</small>に、彼女専用の控室で撲殺された。3幕以降も舞台は続き、観客は最後までクレスパンの踊りを観ていた…。</p>				

デ72-17	小説 (1962)	ちようりゆう 長流 七	しまもと ひさえ 島本 久恵	13:23
<p>近代の黎明より現代まで、一つの家族の生活をテーマに28年の歳月で綴った問題の小説。(市内利用者からのリクエストにより現在製作中のシリーズ)</p>				

デ72-18	小説 (2023)	えんき じょうとう 縁切り上等! りこんべんごしまつおかつむぎ じけん 離婚弁護士松岡紬の事件ファイル	しんかわ ほたて 新川 帆立	7:34
<p>子供を連れ、北鎌倉の実家に逃げ帰った聡美<small>さとみ</small>は、縁切りで名高い「東衛寺<small>とうえいじ</small>」の娘で弁護士の紬<small>つむぎ</small>に出会う。勢い込んで離婚相談をした聡美だが、思いがけないことを言われ…。リーガル・エンタメ。</p>				

デ72-19	小説 (2023)	ば ものてほん 化け者手本	せみたに めぐみ 蟬谷 めぐ実	6:27
<p>鳥屋の藤九郎<small>ふじくろう</small>と元役者の魚之助<small>ととのすけ</small>のもとに、中村座の座元<small>ざもと</small>から事件の話が持ち込まれた。舞台の幕が下りたとき、変死体が客席に転がっていたという。演目は「仮名手本忠臣蔵<small>かなてほんちゆうしんくら</small>」。真相解明に乗り出したふたりだったが…。</p>				

デ72-20	小説 (2023)	めちやくちや 滅茶苦茶	そめい ためひと 染井 為人	10:50
<p>東京でシングルライフを謳歌する30代女性の不穏な恋愛、不良に堕ちた級友に再会した北関東の高校生、継いだラブホテルが経営不振に陥った静岡県在住の中年男。欲望に駆られた出会いは、彼らを谷底に突き落とす。</p>				

デ72-21	小説 (2023)	きおくしょてん さつじんしゃ ま くわかん 記憶書店 殺人者を待つ空間	チョン・ミョンソ プ	6:01
<p>残忍な男に妻と娘の命を奪われたユ・ミョンウ。犯人は捕まらないまま15年を迎えた。古書に異常な執着を持つ犯人をおびき出すために、ユ・ミョンウは古書だけを扱う〈記憶書店〉を開店。そこに4人の怪しい客が現れ…。</p>				

デ72-22	小説 (2023)	ほんこんけいさつとうきょうぶんしつ 香港警察東京分室	つきむら りょうえ 月村 了衛	7:53
<p>香港でデモを扇動、さらに助手を殺害して日本に逃亡したキャサリン・ユ一元教授。彼女を逮捕すべく捜査にあたる分室メンバーを、香港の犯罪グループが襲撃し…。</p>				

デ72-23	小説 (2023)	なつ ほし み この夏の星を見る	つじむら みずき 辻村 深月	13:50
<p>コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは…。</p>				

デ72-24	小説 (2023)	ラットトラップ	どうぼ しゅんいち 堂場 瞬一	9:40
<p>愛と平和の祭典、ウッドストック・フェスティバル。若者たちが音楽に酔いしれる中、一人の少女が消えた。探偵ジョーは、コンサート会場で少女が中年のヒッピー女性と一緒にいたとの証言を得て、現地へ向かうが…。</p>				

デ72-25	小説 (2023)	げんかいこっか 限界国家	にれ しゅうへい 楡 周平	8:17
<p>政界、財界のフィクサーとして名を馳せる前嶋が、コンサルティング会社「LAC」を訪れた。「2、30年先の日本がどうなるか調査してほしい」という。LACの津山が調査をはじめが…。</p>				

デ72-26	世界史 (1994)	ロシア (読んで旅する世界の歴史と文化)	はら たくや かんしゅう 原 卓也 監修	25:13
<p>「ロシアの歴史と民族・宗教」、「ロシアの自然と地理」、「ロシアの文化」、「ロシアの生活と風俗」の全4部からロシアを読み解く一冊。(※古いカセットテープをデジタイズ)</p>				

デ72-27	小説 (2023)	ひとつこひとり	ひがし なおこ 東 直子	5:21
--------	--------------	---------	-----------------	------

夫に抱えている秘密を言い出せない主婦、高校生の娘に弁当を作り続けるシングルファーザー、元担任教師に強引に家に誘われた教え子…。「言葉」がもたらす小さな奇跡を見せてくれる短編集。

デ72-28	小説 (2023)	ひやくねん こ 百年の子	ふるうち かずえ 古内 一絵	11:28
--------	--------------	-----------------	-------------------	-------

明日花(28歳)は、自社が出版する学年誌の歴史を調べるうちに、今は認知症の祖母が、戦中、学年誌の編集に関わっていたことを知り…。戦中～令和の出版界を舞台に、子ども、女性、母親が人生を掴み取る姿を描く大河小説。

デ72-29	小説 (2023)	かんもく おんな 完黙の女	まえかわ ゆたか 前川 裕	11:49
--------	--------------	------------------	------------------	-------

小4男児が自宅を出たまま姿を消した。時効目前の15年後、子供の骨を持ち運んでいた女が殺人容疑で逮捕される。女は苛烈な取り調べにも沈黙を貫き、判決は無罪。やがて別の失踪事件との間に奇妙な共通点が浮上し…。

デ72-30	小説 (2023)	すみ 墨のゆらめき	みうら しをん 三浦 しをん	6:56
--------	--------------	--------------	-------------------	------

都内の老舗ホテルに勤務する続力(つづきちから)は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田薫(とおだかおる)を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。

デ72-31	小説 (2023)	はな 花だいこん	やまもと いちりき 山本 一力	9:48
--------	--------------	-------------	--------------------	------

一膳飯屋(いちぜんめしや)「だいこん」を知人に譲ったつばきは、父と母と新たな三人暮らしを始めた。ある日、薬種問屋(やくしゅどんや)蓬菜屋(ほうらいや)が看板の思案を求めていることを知り、巨大提灯(ちようちん)という壮大なスケールの思案を提案する。

デ72-32	小説 (2023)	オール・ノット	ゆずき あさこ 柚木 麻子	8:40
--------	--------------	---------	------------------	------

苦学生の真央(まお)がスーパーマーケットの試食販売で出会ったのは、かつて栄華(えいが)を誇った山戸(やまとけ)家の生き残り、なんでも売れる嘘つきのおばさんだった。彼女が託した宝石箱が、真央の人生を変えていき…。

デ72-33	小説 (2023)	メロスの翼(つばさ)	よこぜき だい 横関 大	11:35
--------	--------------	------------	-----------------	-------

卓球大会に出場した、日の丸を背負う中国代表選手・毛利翼(マオリイー)。テレビ局のスタッフが調べると6年前、毛利翼(もうりつばさ)という大学生が殺人罪で逮捕されていて…。過去と現在をつなぐ絆のラリーが始まった。

デ72-34	小説 (2023)	かねんぶつ 可燃物	よねざわ ほのぶ 米澤 穂信	7:29
連続放火事件が発生し、県警葛班 ^{かつら} が捜査に当てられるが、容疑者を絞り込めないうちに犯行がびたりと止まってしまう。捜査は行き詰まるかに見えたが…。葛警部の鮮やかな推理が光る全5編。				

寄贈広報誌ほか	<p>*にってんデイジーマガジン(月刊)</p> <p>内容:「ブックウェーブ」、「月刊文藝春秋」、「ホームライフ」、「医学研究」等</p> <p>*京まる(月刊) 内容:「はなのぼう」「本屋さんの新刊書」「声の京都」</p> <p>*政府広報誌: ^{あす}明日への声、厚生</p> <p>*令和4年度 食料・農業・農村白書 (発行:農林水産省)</p> <p>*私たちの税金 令和5年度版 (発行:国税庁 広報広聴室)</p> <p>*令和5年度市営住宅だより 秋号</p>
---------	---